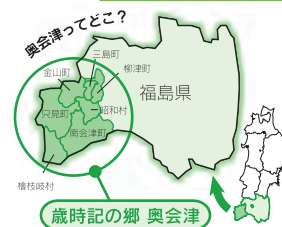


# 奥会津だより



柔らかな緑にいのちが溢れる  
土も眠りから覚めた  
作物たちの命を委ねる豊かな土を  
信頼し慈しみながら畑を整える



# 一枚の写真から

柳津町立柳津中学校 一年 土橋 柊太

この写真は、僕の祖父と祖父の弟、三人が遊んでいる写真です。この写真の祖父は、一番手前ひいばあちゃんが仕事をしていて、祖父の家の裏の畑です。このころは、もちろんゲーム機などはなかったの、「外遊びがすごく楽しかった。」と、話していました。

この写真が撮られたのは五十年ぐらい前で、春の五月ごろのちようど育苗が行われる前に撮られたそうです。また、撮ったのは青森にいる祖父のおじが撮ってくれたそうです。この写真は五十年前前に撮られたものなのに、五十年も過ぎた今もはつきりと覚えていて、すごいなあと思いました。最後に、僕は、この話を聞いて、現在の生活を大切にしていけないといけないんだなあ、と思いました。五十年の間に、ゲーム機や電化製品が次々と、たくさん発明され、五十年前とは、比べものにならないほど、生活が、便利で豊かで、楽しくなりました。でも、五十年前の生活が不便だからといって、そのまま、人々の記憶から消し去ってはいけません、僕は思います。五十年前の生活だつて、良い事はたくさんあります。この事を忘れないで、今、現在の生活を大切にしていきたいです。

そして、もっともつと昔の事について学び、もっともつと今の生活について、よく考えてみたいですね。



## 取材ノート



祖父：土橋 澄男さん  
(昭和二十五年生 六十五歳)  
孫：土橋 柊太(しゅうた)君  
(平成十五年生 十三歳)  
(柳津中二年)

トタンを貼って道路とか平らなところでスケート遊びだな。

デコサッコという食物があった。子どもたちが遊びながら食べていた。大根で作ったもので、「デコ」は「大根」のことだろうか？食べるときにわらべ歌のようなものを歌いながら食べた。

Q..自分が中学生の頃と今の中学生の違いは何でしょう。

澄男さん..違いは、いっぱいあるな。今はパソコンやら携帯やら、いろんなことが出来るしなあ。便利なものをいっぱい使うことが出来る。

Q..五十年前と今、子どもにとってどちらが幸せなんでしょう？

澄男さん..俺たちは、楽しく自由にしてた。今の子ども達は何かにしぼられているみたいな感じがするなあ。「勉強しろ！」なんて言われたこと無かったし、勉強より家の手伝いをしなければならなかった。今は、勉強が優先かなあ、大人も子どもも、みんな忙しいような感じがするなあ。

昔は夏場は通えたけれども冬場が大変だから、息子(柊太君の父親)は町中の独身寮に入った。その頃は、トンネルも無かったしな。母親(柊太君の曾祖母)は、ヒロ口での仕事、蓑も作っていた。

隣近所の町村のみなさんには本当にお世話になった。昭和村では葉タバコの時代から今のカスミソウまで。冬の手仕事は工人祭りの

三島町や地元柳津町。  
Q..孫さんとは、よく会うことができますか？

澄男さん..中学生になったら、会えなくなつたな、電話ぐらいかな？

Q..柊太君「今の生活を大切にしたい...」とは？

柊太君..じいちゃんたちが子どもの時に遊んでいたことで、今でも同じような遊びをしていることがあるので、そういうのを無くしちゃだめだなあと思いました。それからじいちゃんが僕と同じ歳のころは外で遊んでいるのが多かったというのがいいなあ、と思いました。  
(写真・文責：菅 敬浩)

## 不思議な話

小柴芳夫さん

(昭和三年生まれ..三島町西方)

昔のことだが、キツネ火を見たことがある。

ある暗い晩、西方の小・中学校(現在の生涯学習センターカタクリ)の辺りの道を歩いているとき、何気なしに只見川の方を見た。すると、川べりの当時の道、ちようど川井新道のさらに上のあたりに、ポツポツとたいまつのような明りが十個くらい見えた。しかし、そんなところに道はないはずだ。おかしいなと思いつつながら見ていた。そして、ふいに消えた。

ああ、これがキツネ火かと自分を納得させて帰ってきたのを覚えている。

## 奥会津の食材と料理

### ウルイ



ポリフェノール類が多く含まれるという春の山菜のひとつウルイ。

クセがないので生のままサラダにしたり、炒め物にしたりと調理の幅も広い。写真は定番の酢味噌和え。さっと茹でて和えただけのシンプルな一品。刻みクルミがまるやかさを増す。

## 暦に添う暮らし



### クルミの枝の塩入れ

4月下旬から5月中旬頃は、スカナが伸びて食べごろになる。かつて子どもたちは、野遊びの道具にクルミ木の枝で塩入れを作り、喉が渴くとスカナを摘んで塩をつけて食べた。

クルミの木の枝にグルリと筋を入れて丁寧に木の枝で叩き、回すようにすると樹皮がはがれるので、これを筒にして塩を入れ、携帯した。二、三日すると塩にうっすらと薄紅の色がつく。樹木に水が上がっているこの時期以外には樹皮がはがれないことを、子どもたちは知っていた。

## 奥会津の生き物と草花

写真・文・新国 勇

鮮やかな瑠璃色がきわだつ夏鳥。沢沿いの高木の梢でブルーリー、ジジツとさえずる。キビタキのさえずりに似るが、最後に「ジジツ」という声があればオオルリ。奥会津ではエエドリ（藍鳥）という。日本三鳴鳥のひとつ。



### オオルリ



### マキノスミレ

早春、いくぶん乾いた林の下に可憐な花を点々と咲かせる。すくくと葉をのばし、頭でっかちな花をつける。花は濃い紅紫色で、メルヘンチックな雰囲気をつたよわせる。植物学者の牧野富太郎を記念して名づけられた。

## 子どものいる風景

写真・文 竹島 善一

さしもの雪も四月となれば消えてくる。道端の畑地にクワを入れる。足腰の立つうちは、この手ごたえが身体に春を告げてくれる。

作物と孫の成長が、手の内にある。

(昭和五十三年四月 三島町大谷)



# Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「デコサッコ」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、金山町の「マタタビ菓子器」をプレゼントいたします。



●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979 奥会津書房 宛

●応募締切：2016年6月20日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。 ※クイズの答えは次号93号で発表いたします。

## ◎91号「ばち」の答え：ハチ(蜂)

たくさんのご応募ありがとうございました!

# 読者コーナー



●拝見して第一に素晴らしい!と思わず声を出してしまいました。いつものことで文字は少なくとも民俗学的にととても良く説明している写真が多数掲載されており、見とれる「奥会津だより」です。(千葉県我孫子市:K.Kさん)

●表紙の写真に故郷の母を想い、手にしました。胸がキュッとなりました。(那須塩原市:K.Nさん)

●よかったのは表紙の写真。撮影された田沼さん、どんな方なのでしょう。記事で取り上げていただきたいと思いました。(新潟県阿賀野市:T.Mさん)

●貴誌の83号の聞き書き百選。鉄道は観光のためじゃなく工事のために作られたもので、工事が終わってから只見線として通ったそうですね。子供のためにも聞き書き百選を続けて欲しいと思います。(会津坂下町:N.Eさん)

●表紙の「踏みしめる残雪の下には春」その言葉には雪国に生きる人々のみぞ知る春の訪れへの大きな喜びが感じられ、大変に共感しました。(新潟県柏崎市:K.Mさん)

## 奥会津だより 定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

# 奥会津アドベンチャー

2016.4.29(金) → 2017.2.28(木)

奥会津7町村(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町・檜枝岐村)の温泉地、グルメ、謎解き、体験の4種のスタンプから1町村いずれか3つのスタンプを集めるか、JR 只見線の会津柳津駅・会津宮下駅・会津川口駅・只見駅を巡り、いずれか3駅のスタンプを集めると、先着でオリジナルグッズを贈呈します。

**温泉、グルメ、体験、謎解きで!奥会津の旅でスタンプを集めよう!!**

奥会津イベント情報		6月~7月		
日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
6月4日(土)	うつくしま・みずウオーク2016赤べこの里やないつ大会	柳津町	道の駅会津柳津	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114
6月4日(土)~6月19日(日)	第11回帝釈山・台倉高山「オサバ草まつり」	檜枝岐村	馬坂峠登山口	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
6月5日(日)	志津倉山 山開き	三島町	志津倉山(三島町間方)	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
	山菜まつり	只見町	塩沢公民館前広場	塩沢観光協会 ☎0241-82-2458
蒲生岳 山開き	蒲生公民館前広場		只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250	
6月8日(水)16:00~	藻谷浩介講演会「里山資本主義」 ※申込制	金山町	金山町開発センター	金山町観光物産協会 ☎0241-42-7211
6月11日(土)	ひめさゆり祭	南郷地域	会津高原南郷スキー場	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-64-5811
6月11日(土)~6月12日(日)	第30回ふるさと会津工人まつり	三島町	三島町生活工芸館前	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
	てわっさの里まつり		宮下地区	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
	山と木の市場		森のしごと舎	(株)会津桐炭 ☎0241-42-7802
6月12日(日)	会津朝日岳 山開き	只見町	赤倉沢登山口	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
	南郷ひめさゆりバイクミーティング	南郷地域	会津高原南郷スキー場	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-64-5811
	尾瀬国立公園田代山 山開き	館岩地域	田代山猿倉登山口	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
6月18日(土)・6月19日(日)	只見線山菜満喫号	只見町	只見駅	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
6月19日(日)	只見町雪むろまつり&キャンドルナイト		只見駅前広場	只見町雪むろ実行委員会 ☎0241-83-1733
6月19日(日)	七ヶ岳 山開き	館岩地域	たかつえ木工センター	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
6月25日(土)	エクストリームシリーズ尾瀬街道伊南大会	伊南地域	伊南総合支所前スタート	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
6月25日(土)~6月26日(日)	会津高原チロリアンフェスタ	館岩地域	会津高原地区	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
6月26日(日)	浅草岳 山開き	只見町	只見沢登山口	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
	三ツ岩岳 山開き	伊南地域	三ツ岩岳登山口受付	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
7月2日(土)	西根川渓流釣り大会	館岩地域	木賊温泉	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
	第46回会津駒ヶ岳 夏山開き	檜枝岐村	滝沢登山口(国道脇)	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
7月3日(日)	第15回燧ヶ岳 夏山開き		御池登山口(駐車場奥)	
7月16日(土)	伊南川鮎釣り解禁	伊南地域	伊南川	南会津西部非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
7月17日(日)	歩行者天国イベント「Mon★Ten」	柳津町	柳津町寺家町地内	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114
7月18日(月・祝)	走ってみっべ南会津	館岩地域	南会津全域	会津高原リゾート(株) ☎0241-78-3099
7月23日(土)~7月24日(日)	第31回からむし織の里フェア	昭和村	道の駅からむし織の里しようわ	からむし織の里フェア実行委員会 ☎0241-57-3700
7月30日(土)	会津高原たていわ夏まつり	館岩地域	たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
7月31日(日)	こども溪流まつり		しらかば公園	



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)  
 発行日：5月20日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525  
<http://www.okuaizu.net> ☐webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580  
 ★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。  
 この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。